

オンラインで実施する国際協力に 関する海外研修の可能性

～学生本位による学びへの取り組み

国際関係学グループ（創価大学・林亮/日本大学・佐渡友哲/東洋大学・柏崎梢）

2021年度話題提供 東洋大学国際学部国際地域学科

国際地域学研修Ⅲ・Ⅳ

高橋一男・柏崎梢 計2単位
約2週間、10～20名が参加

- 2000年より毎年実施
- 2015年より担当
- 現地カウンターパート：チュラロンコン大学・東洋大学バンコクオフィス
- タイ王国をフィールドとし、都市インフォーマル居住地（スラム）の貧困、住宅、教育問題に関して、フィールド調査を実施する海外研修

- 五感を使っでの学び
- 現地大学生、現地住民や組織、学識者との関係性の構築

課題

- 学習意識と関係の継続性



2020年度

2月1日～5日（+事前事後課題）計68時間

初のオンライン実施 11名参加

- 公益社団法人シャンティ国際ボランティア会「絵本を届ける運動」
- チュラロンコン大学、バンコクオフィスとの連携継続
- 「Learning the Poverty Issue and Educational Support for Children with COVID-19 in Thailand and Japan: Through the Aspect of Power of Picture Books」
- 事前課題と現場活動＋専門講義＋グループワーク・発表＋事後課題とフィードバック

- 「絵本」という媒体を通して、現場の「課題」と「自身の経験」を結びつけ、可能性を探る
- 現地からの発信、フィードバックの充実・多様化

課題

- プライバシー配慮
- 問題解決に向けた提案の限界



2021年度

8月5日～10日（+事前事後課題）計68時間

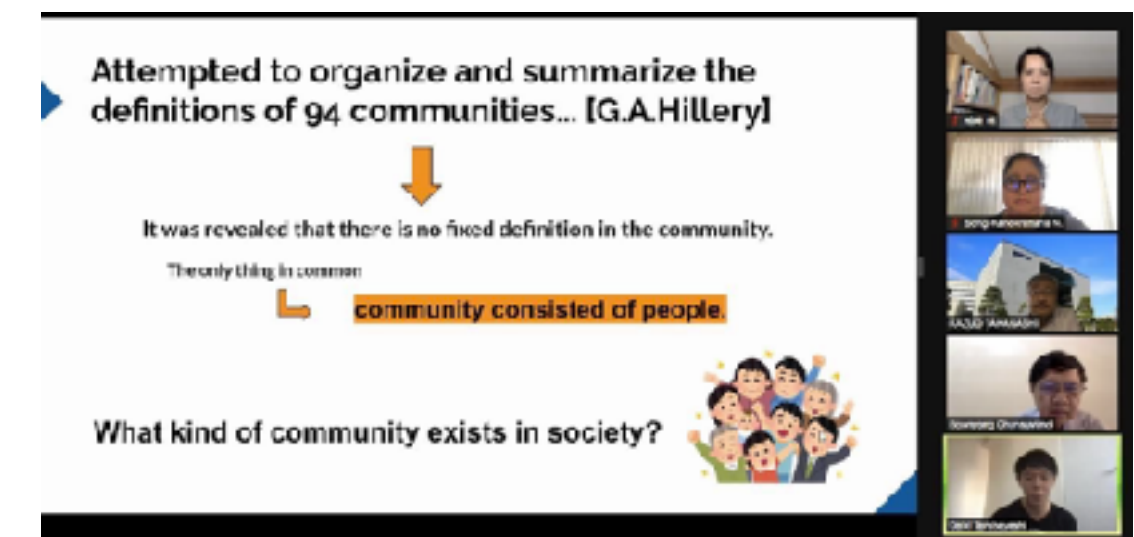
再度完全オンライン 18名参加（英語トラック学生5名含）

- 公益社団法人シャンティ国際ボランティア会「絵本を届ける運動」
- 一般社団法人 絵本未来創造機構 特別講義
- チュラロンコン大学、バンコクオフィスとの連携継続
- 「Exploring the Sense of Community in Asian and Global Cities through the Aspect of Power of Picture Books」
- 事前課題＋資料送付＋専門講義＋グループワーク・発表＋事後課題とフィードバック

- 五感で楽しむ要素を追加し、一体感の醸成
- グループワークの期間にゆとりをもち、各自の調査も可能とする
- 研修後の返却を通し、継続的な関係性（学習、ボランティア等）の構築

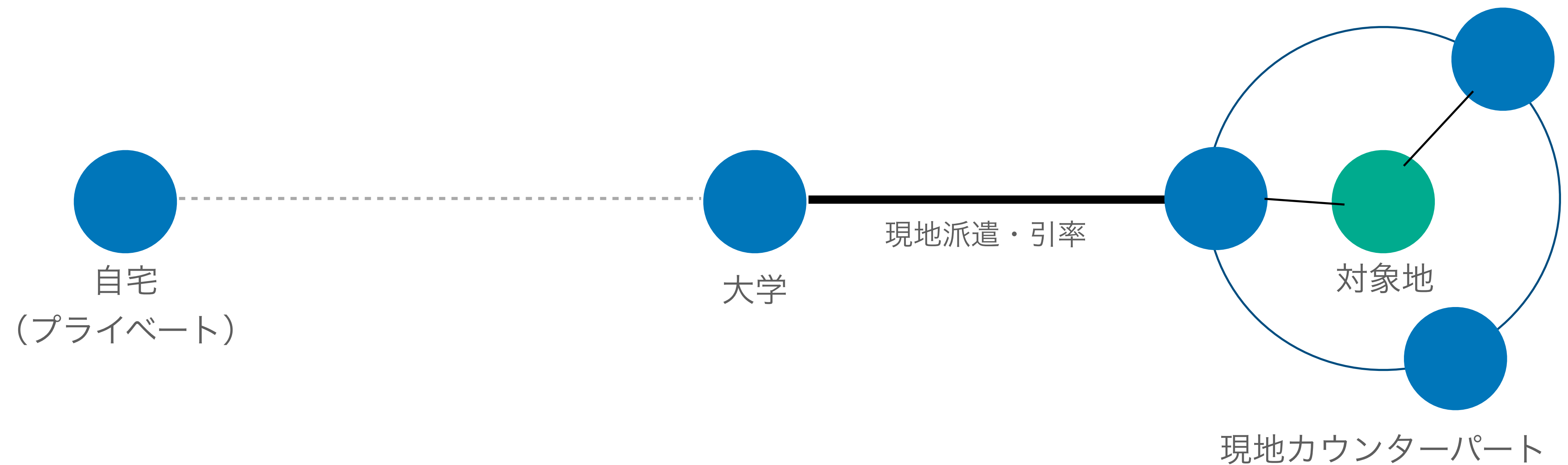
課題

- 送付の手間



オンライン海外研修の可能性

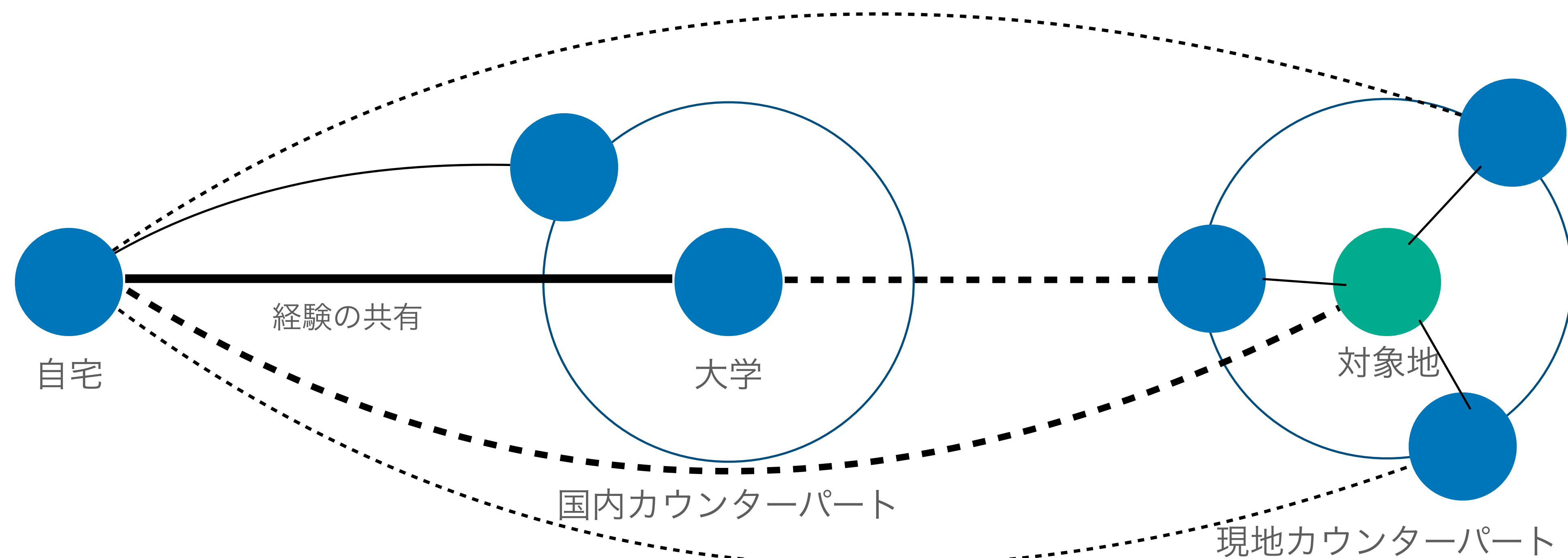
既存の研修におけるつながり



現場主義

オンライン海外研修の可能性

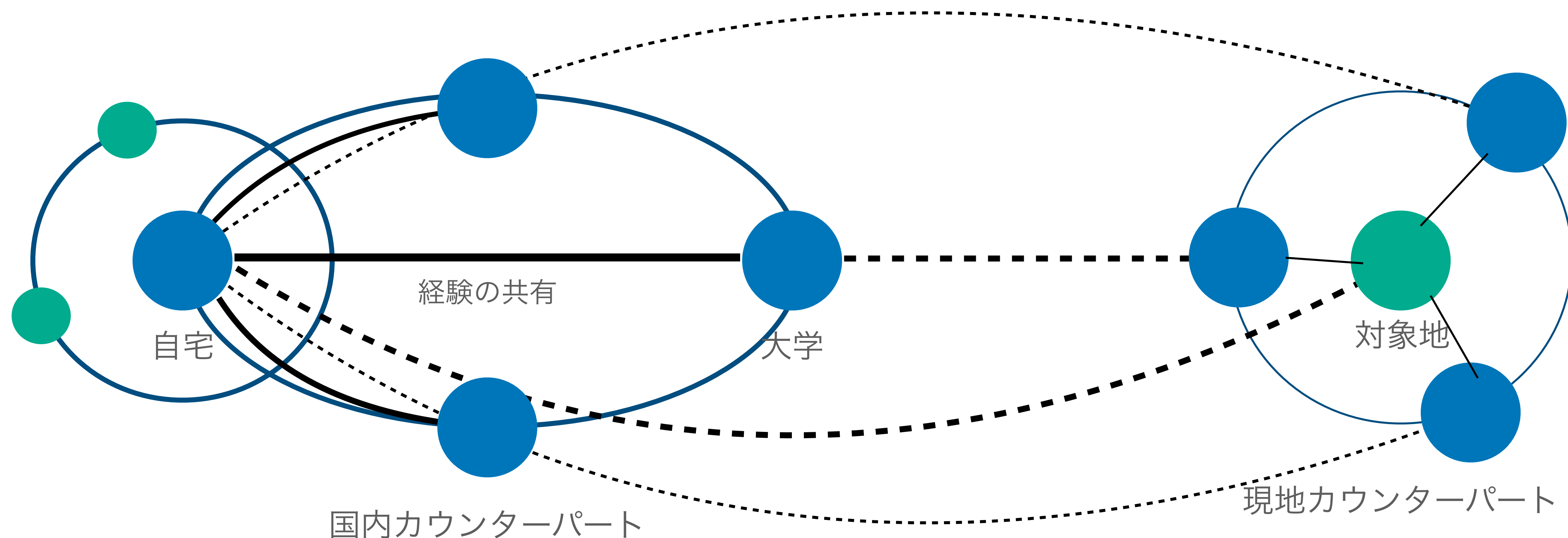
オンライン化



「学生自身」と「現地の課題」が結びつく

オンライン海外研修の可能性

オンライン化＋多様化



＋参加者・関係者の多様化によるチャンネルや機会とのつながりにより新しい行動へと発展

今後の展望

学生本位の学びに向けて

- オンラインの連携は既存のネットワークと実績があったから可能となった
- 国際関係学においては、「個」と「世界」との位置付けは切り離せない
- コロナで閉ざされた機会は、双方にとって自身を見つめ直し、自ら主体的に発信する機会を創出（したかもしれない）
- 理論と現場体験の整理にも（現場主義の内省）
- 教員自身における発見・反省も
- 研修後に対面で行動に移す・つなげることが重要



絵本未来創造機構



ありがとうございました